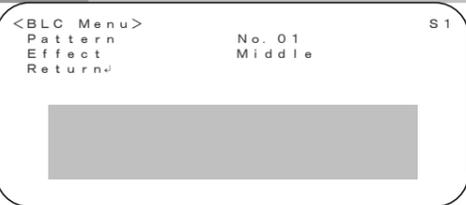


4. OSDメニュー構造と機能(露出設定メニューの子画面)

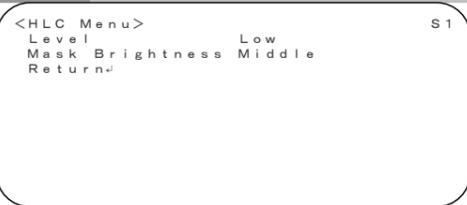
画面②-1 逆光補正(BLC)モードメニュー



Pattern
BLC機能の重点測光枠は、15種類の中から設置環境に最も近い測光枠を選択します。それぞれ測光枠を選択したときに画面上に枠表示しますので確認しやすくなっています。(出荷設定: No.01)

Effect
効果量を設定します。
Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

画面②-2 ハイライト補正(HLC)モードメニュー



Level
高輝度のクリップレベルを設定します。
Low, Middle, High (出荷設定: Low)
Low: 高い輝度をマスクする, High: 低い輝度をマスクする。

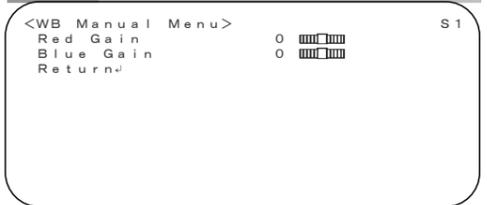
Mask Brightness
高輝度映像の検出レベル設定で、高輝度検出された映像の明るさを置換します。
Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

画面②-3 霧消し(Defog)モードメニュー



Effect
効果量を設定します。
Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

画面②-4 ホワイトバランス設定の手動メニュー

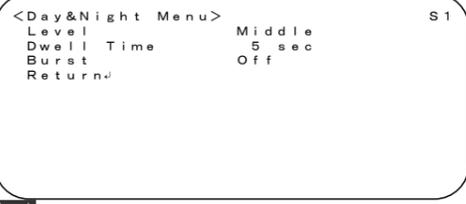


マニュアルホワイトバランスの調整は、R/Bゲインを調整して行います。

Red Gain
赤の色相を調整します。
-50 ~ 0 ~ +50 (出荷設定: 0)

Blue Gain
青の色相を調整します。
-50 ~ 0 ~ +50 (出荷設定: 0)

画面②-5 デイナイト設定メニュー (Auto+Terminal)

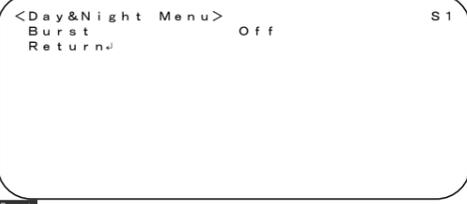


Level
カラーと白黒切替の明るさを設定します。
Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

Dwell Time
カラーと白黒を切替えるための判定時間を設定します。
3sec, 5sec, 10sec, 30sec, 60sec, 3min, 5min (出荷設定: 5sec)

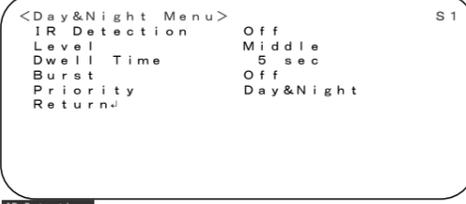
Burst
B/W(Nightモード)切替え時のバースト信号有無を設定します。
Off: バーストなし, On: バーストあり (出荷設定: Off)

画面②-6 デイナイト設定メニュー (Auto)



Burst
B/W(Nightモード)切替え時のバースト信号有無を設定します。
Off: バーストなし, On: バーストあり (出荷設定: Off)

画面②-7 デイナイト設定メニュー (Auto(Not IR))



IR Detection
赤外光含んだ照明下で発生するハンチングを防止する機能です。赤外光を含んだ照明下で使用する場合は、「On」設定にしてください。
Off, On (出荷設定: Off)

Level
カラーと白黒切替の明るさを設定します。
Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

Dwell Time
カラーと白黒を切替えるための判定時間を設定します。
3sec, 5sec, 10sec, 30sec, 60sec, 3min, 5min (出荷設定: 5sec)

Burst
B/W(Nightモード)切替え時のバースト信号有無を設定します。
Off: バーストなし, On: バーストあり (出荷設定: Off)

Priority
「Day&Night」と「SENS UP」を併用して動作させる場合は、どちらかを先に動作させるための設定ができます。
Day&Night: 低照度まで動き重視する場合に設定します。(出荷設定)
SENS UP: 低照度までカラー映像を優先する場合に設定します。

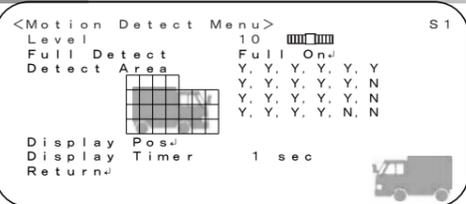
画面②-8 デイナイト設定メニュー (B/W)



Burst
B/W(Nightモード)切替え時のバースト信号有無を設定します。
Off: バーストなし, On: バーストあり (出荷設定: Off)

5. OSDメニュー構造と機能(特殊設定メニューの子画面)

画面④-1 動体検知設定メニュー(感度設定)



1画面を24分割してブロックごとに、輝度情報と隣接するブロックとの輝度変化(動き)を検知したときに、アラームとして画面上に文字(MD)表示します。
① 動く被写体の大きさは、1/24ブロック以上必要です。
② 動く被写体のコントラスト比が小さいものや、遅いスピードもの、ものによっては検知できないことがあります。

Level
動体検知する感度を設定します。(上記画面は動体検知例です。)
1 ~ 10 (出荷設定: 10)
動体検知された位置が赤色枠で表示します。(白黒モードでは灰色枠で表示します。)

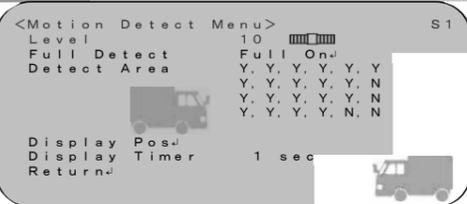
Full Detect
画像全域の検知を設定します。(画面④-2参照)
Full Off (解除), Full On (有効) (出荷設定: Full On)

Detect Area
検知エリアを個別設定します。(画面④-2参照) (下記は設定例です。)
Y, Y, Y, Y, Y, Y
Y, Y, Y, Y, Y, N N: Off設定
Y, Y, Y, Y, Y, N Y: On設定 (出荷設定)
Y, Y, Y, Y, N, N

Display Pos
動体検知後に表示される文字(MD)の表示位置を設定します。
表示位置は6箇所から選択します。(画面④-3参照)

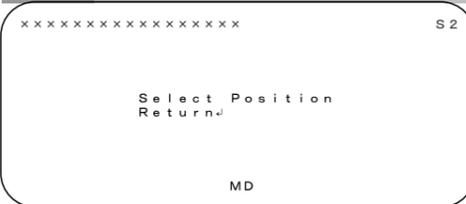
Display Timer
動体検知時の文字表示時間を設定します。
1sec, 5sec, 10sec, 30sec, 60sec, 5min, 10min (出荷設定: 1sec)

画面④-2 動体検知設定メニュー(検知位置設定)



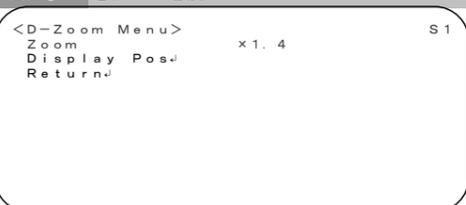
検知設定したエリアは、設定メニューと同時に灰色で表示されますので、適切な位置であるかどうか確認できます。(上記画面は検知エリア設定例です。)
① 設定項目と内容は動体検知設定メニュー(感度設定)を参照ください。(画面④-1参照)

画面④-3 動体検知表示位置設定



動体検知時の「MD」文字の表示位置を設定します。「MD」の表示可能位置は、画面の上下計6か所から選択になります。「MD」の表示色は、カラー時: 赤色、白黒時: 白色となります。白黒時のバーストを「ON」設定した場合は、白黒でも「MD」文字は赤色になります。

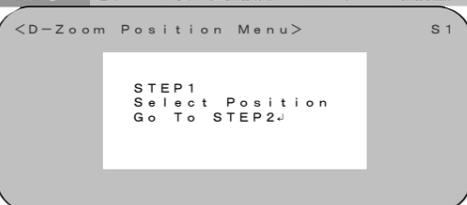
画面④-4 電子ズーム設定メニュー



Zoom
電子ズームの倍率を設定します。
x1.4, x2.0, x2.8, x4.0, x5.6, x8.0, x11, x16
(出荷設定: x1.4)

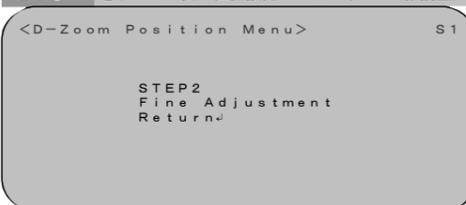
Display Pos
電子ズームの表示位置を設定します。(画面④-5, 画面④-6参照)

画面④-5 電子ズーム表示位置設定メニュー(STEP1:粗調整)



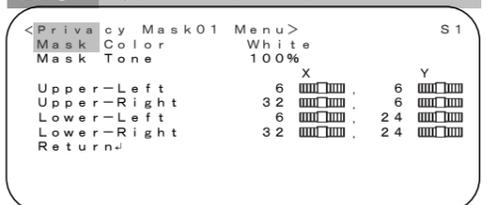
電子ズーム時のフレーム位置を設定します。(STEP1) 尚フレーム外の映像は、青色で表示しています。

画面④-6 電子ズーム表示位置設定メニュー(STEP2:微調整)



電子ズームのフレーム内画像を全画面に拡大していますので、フレーム位置を微調整します。(STEP2)

画面④-7 プライバシーマスク01メニュー



撮影画面の中で、映したくない部分がある場合、マスクングによって表示しないように設定します。最大16個まで設定可能です。(出荷設定: Mask01-)

Mask Color
マスク色を設定します。
White, Yellow, Red, Blue, Orange, Green, Pink, Purple, Gray, Black, Mosaic (出荷設定: White)

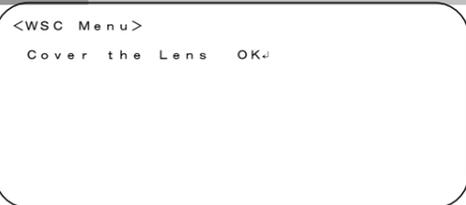
Mask Tone
マスク色の透明度を設定します。
100%, 75%, 50%, 0% (出荷設定: 100%)

マスク作成手順
1) 特殊設定メニューにてマスク番号を選択後、表示するシーンを選択します。
2) マスク番号を押すと、プライバシーマスク設定画面を開きます。
3) プライバシーマスク設定画面でマスク色/トーン設定後にマスク位置を設定します。
4) マスク位置をX軸(画素)とY軸(ライン)で設定します。

項目	X軸(画素)	Y軸(ライン)	内容
Upper-Left	0~118~238	0~60~122	左上マスク位置を設定します。
Upper-Right	0~118~238	0~60~122	右上マスク位置を設定します。
Lower-Left	0~118~238	0~60~122	左下マスク位置を設定します。
Lower-Right	0~118~238	0~60~122	右下マスク位置を設定します。

白傷補正が終了したら、約1秒間OSD表示しない白傷確認画面を表示しますので、この時に白傷発生有無を確認してください。約1秒後には、自動的に特殊設定メニューに戻ります。

画面④-8 白傷補正設定メニュー



Cover the Lens
白傷補正を適切に行うために、できるだけ暗い環境で行うか、レンズカバー等を用いてレンズを遮光にしてください。
OK: レンズカバーで黒画像になったときに選択し、スイッチを押します。(画面④-9, 画面④-10参照)
Cancel: 白傷補正を行わない場合に選択し、スイッチを押します。

画面④-9 白傷補正設定メニュー(実行開始画面)

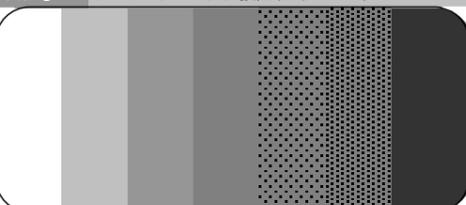


Executing
白傷補正開始時に表示します。(白傷補正中はOSD表示しません。)
① 白傷補正中、映像が乱れることがありますが、異常ではありません。

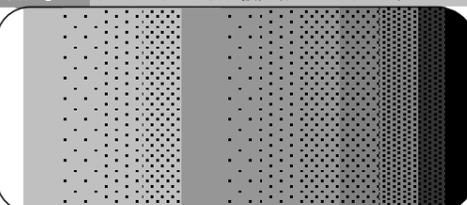
画面④-10 白傷補正設定メニュー(確認画面)



画面④-11 テストパターン出力設定(カラーバー)



画面④-12 テストパターン出力設定(グレースケール)



画面④-13 テストパターン出力設定(十字)



画面④-14 テストパターン出力設定(ハッチパターン)

